

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2012-519584(P2012-519584A)

【公表日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-553079(P2011-553079)

【国際特許分類】

B 05 D	5/00	(2006.01)
C 08 G	85/00	(2006.01)
B 05 D	3/00	(2006.01)
H 01 L	29/786	(2006.01)
H 01 L	21/336	(2006.01)
H 01 L	51/05	(2006.01)
H 01 L	51/30	(2006.01)
H 01 L	51/40	(2006.01)
H 01 L	21/368	(2006.01)

【F I】

B 05 D	5/00	Z
C 08 G	85/00	
B 05 D	3/00	Z
H 01 L	29/78	6 1 8 B
H 01 L	29/78	6 1 8 A
H 01 L	29/28	1 0 0
H 01 L	29/28	2 5 0 G
H 01 L	29/28	3 1 0 J
H 01 L	21/368	L

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造化有機薄膜(SOF)の製造法であって、

前記製造法は、

(a) 第1の溶媒と、

第2の溶媒と、

それぞれがセグメントと官能基とを含む、複数の分子構成要素と、

を含んでいる、液体を含む反応混合物を調製する工程と、

(b) 前記反応混合物をウェットフィルムとして堆積する工程と、

(c) 前記ウェットフィルムの変化を促進し、乾燥SOFを生成する工程と、

を含むことを特徴とする、SOFの製造法。

【請求項2】

前記乾燥SOFは、共有結合性有機骨格(COF)として配列した、複数のセグメントと複数の連結基とを含み、前記乾燥SOFは、実質的に欠陥のない薄膜であることを特徴

とする、請求項 1 に記載の製造法。

【請求項 3】

複合材構造化有機薄膜の製造法であって、

前記製造法は、

(a) 第 1 の溶媒と、

第 2 の溶媒と、

二次的成分と、

複数の分子構成要素と、

を含んでいる、液体を含む反応混合物を調製する工程と、

(b) 前記反応混合物をウェットフィルムとして基材上に堆積する工程と、

(c) 前記ウェットフィルムの変化を促進し、乾燥 S O F を生成する工程と、
を含み、

前記二次的成分は、単一の自立型 S O F に共有結合していないことを特徴とする、複合材構造化有機薄膜の製造法。

【請求項 4】

追加された機能性を持つ構造化有機薄膜の製造法であって、

前記製造法は、

(a) 第 1 の溶媒と、

第 2 の溶媒と、

それぞれがセグメントと官能基とを含む、複数の分子構成要素と、

を含んでいる、液体を含む反応混合物を調製する工程と、

(b) 前記反応混合物をウェットフィルムとして基材上に堆積する工程と、

(c) 前記ウェットフィルムの変化を促進し、追加機能性を持つ乾燥 S O F を生成する工程と、
を含み、

前記分子構成要素は、前記 S O F 内で追加機能性を生じるよう選択されていることを特徴とする、構造化有機薄膜の製造法。